

## 第 22 回高校生ものづくりコンテスト全国大会溶接競技部門(公開競技)で愛知県選抜選手「村上晴哉君」

**優勝** 主催は公益社団法人全国工業高等学校長協会

全国大会は、11月11、12日に岡山県岡山市（会場：岡山県立岡山工業高校）で地区代表10名の選手で競い合った。



競技会場



表彰式

### 競技課題

課題は溶接技能者評価試験（JIS Z 3801/WES 8201）の「N-2F」。

すなわち被覆アーク溶接（手溶接）、中板（板厚9mm）の裏当て金なし下向突合せ継手の溶接とする。但し、最終層は競技材の中央部にある指定範囲内（寸法：30mm）でビードを継ぐこと。

### 選抜方法

- ① 愛知県の代表選抜は令和4年5月24日（会場：愛知県立愛知総合工科高校）において県下29名の参加により「令和4年度（第28回愛知県高等学校工業教育研究会 総合競技大会【溶接作業競技】）が開催され上位3名「村上晴哉（総合工科高校）、渡會正樹（愛西工科高校）、及び前田楓貴」が東海大会の選手として推薦された。

愛知県工業教育研究会・機械部会 HP

- ② 全国大会東海地区（愛知、岐阜、三重及び静岡の4県）予選として、令和4年度第2回高校生ものづくりコンテスト東海大会機械系溶接競技部門（日時：令和4年8月24日（水））東海4県から推薦された選手7名（愛知県3名、静岡県2名、岐阜県2名）で競い合った結果、1位の「村上晴哉（総合工科高校）」全国大会へ推薦された。
- ③ 全国大会は、11月11、12日（会場：岡山県立岡山工業高校）で各地区推薦の選手10名で競い合い、東海地区代表の村上さん（愛知総合工科高校）が1位、2位は山川未浩さん（神奈川県、向の丘工業高校）、3位は米倉礼浩さん（鹿児島県、薩南工高）であった。